

## 第7章 早期整備施設の基本計画

大瀬運動公園、下河原運動広場、の整備方針を踏まえ、動線計画・ゾーニング（案）を作成しました。また、中川河川敷包括占用区域や遊歩道等の整備方針を踏まえ、早期整備施設（案）を作成しました。なお、今後の設計や意見交換等の実施により変動が生じます。

### 1 大瀬運動公園

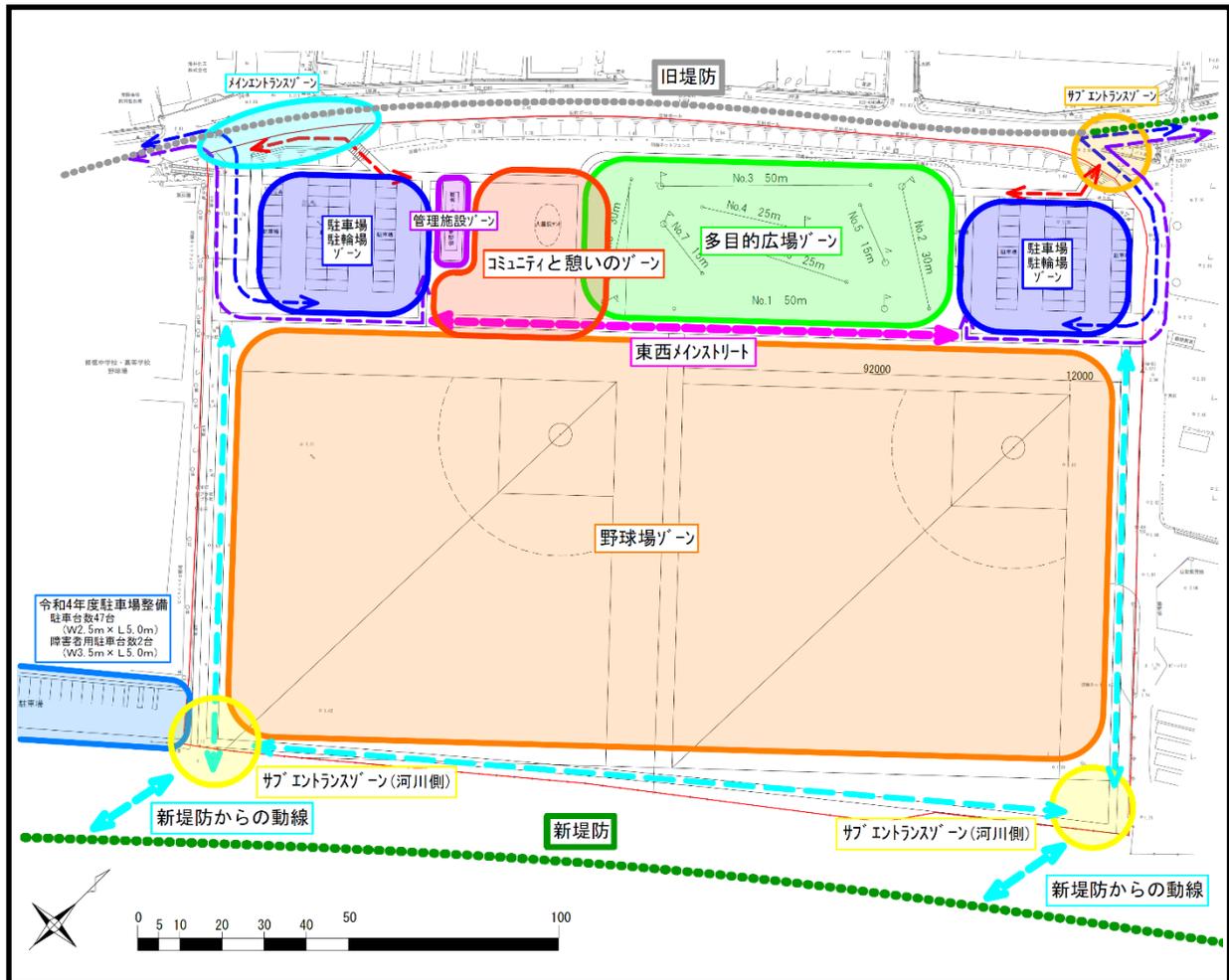
#### (1)コンセプト

日常のコミュニティ活動や憩い・遊び・運動、競技スポーツに対応にした「Sports 拠点」づくり

#### (2)整備方針

- ・スポーツ交流の活性化に向けた競技施設の整備
- ・あらゆる世代に対応する、健康・スポーツ発信拠点の整備
- ・遊歩道との連携
- ・避難場所等の防災機能の整備

#### (3)動線計画・ゾーニング(案)



ゾーニング図

### ■メインエントランスゾーン

- ・明るく開放的なゲート空間、公園の顔
- ・園内へのスムーズな導入
- ・管理施設ゾーン、コミュニティと憩いのゾーンに直結する入口
- ・自動車、自転車、歩行者動線の分離  
(エントランス広場、公園名板、案内板)

### ■駐車場・駐輪場ゾーン

- ・野球場 2 面分の利用を想定した十分な台数確保  
駐車場 80 台程度(W2.5m×L 5.0m)  
駐輪場 60 台程度(W0.5m×L 2.0m)  
(アスファルト舗装、コンクリート系舗装)

### ■コミュニティと憩いのゾーン

- ・コミュニティ、防災の拠点
- ・憩いの空間
- ・スポーツイベント等の中心となるゾーン
- ・隣接ゾーンとの一体利用、連携
- ・キッチンカー等の乗入れ  
(ブロック系舗装広場、大屋根テント、ベンチ、縁台、防災施設)

### ■野球場ゾーン

- ・軟式野球、ソフトボールに対応した球場
- ・大会等への対応(2面確保)
- ・有料での利用を想定  
(両翼 92m程度、バックネット、防球フェンス、外野芝生舗装)

### ■管理施設ゾーン

- ・公園の管理等を司るゾーン
- ・クラブハウス等の設置を想定した空間  
(管理事務所、バリアフリースイレ)

### ■多目的広場ゾーン

- ・運動、イベント等に対応するゾーン
- ・様々な使い方が可能な自由度の高い広場
- ・グラウンドゴルフにも対応する規格
- ・無料での利用を想定  
(ダスト舗装)

### ■サブエントランスゾーン(河川側)

- ・新堤防遊歩道からのアクセス
- ・河川空間との連携  
(小広場、案内板、駐輪場)

### ■サブエントランスゾーン

- ・園内へのスムーズな導入
- ・自動車、自転車、歩行者動線の分離  
(案内板)

### ■東西メインストリート

- ・園内をつなぐメイン動線
- ・野球観戦、イベント見学の場
- ・野球等の待機場所  
(コンクリート系舗装(幅員 3m程度)、ベンチ)

### ■新堤防からの動線

- ・遊歩道と園内を繋ぐ動線
- ・サイクリスト、ランナー等の利用  
コンクリート系舗装(幅員 2m程度)

### ■車両動線

←→  
アスファルト舗装(幅員 6m程度)

### ■自転車動線

←→  
アスファルト舗装(幅員 2m程度)

### ■歩行者動線

←→  
ブロック系舗装、コンクリート系舗装

## 2 下河原運動広場

### (1)コンセプト

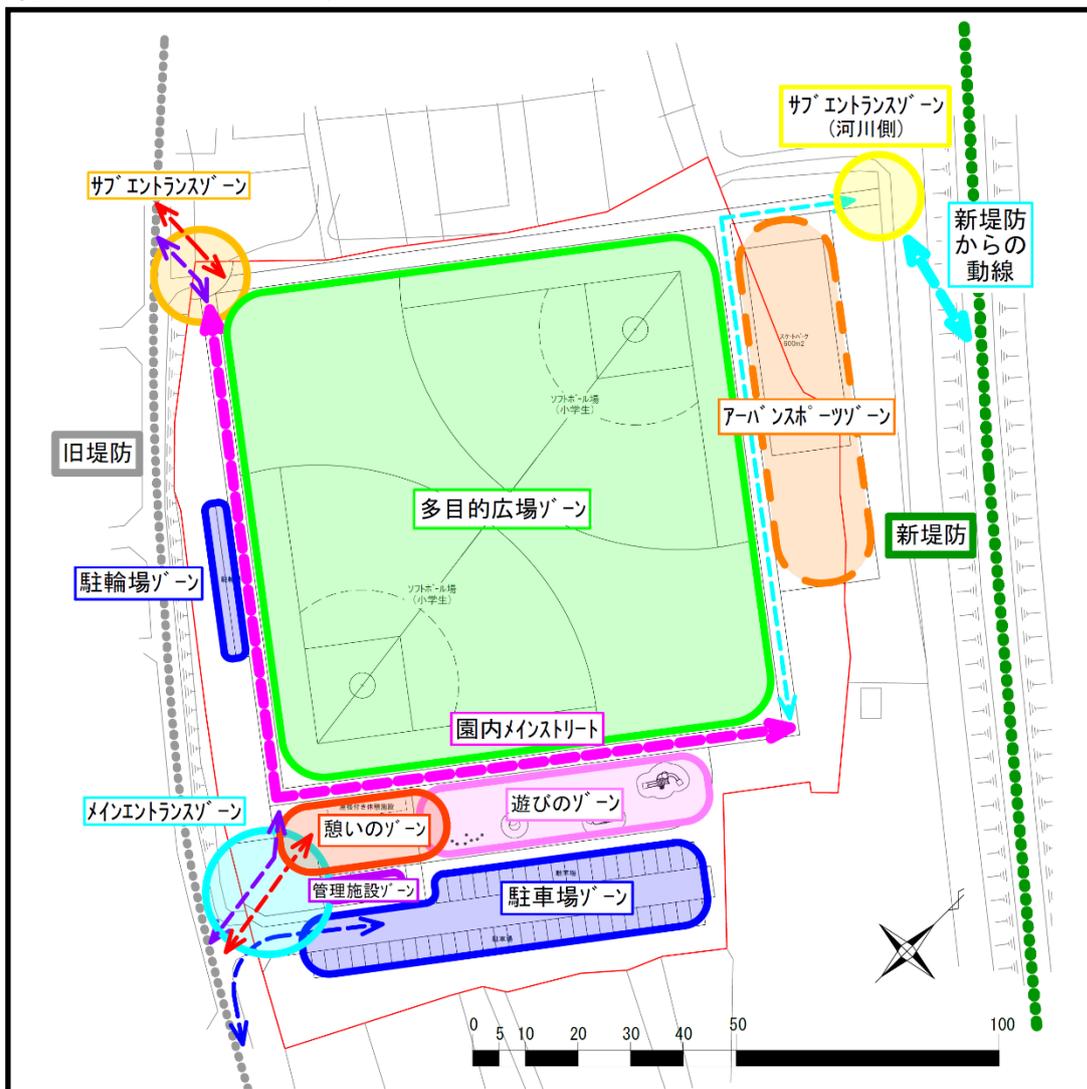
誰もが利用しやすい運動の場、アーバンスポーツの受け皿となり、市民活動の起点となる「Activity 拠点」づくり

### (2)整備方針

早期整備の進め方としては、現在の敷地内において先行して多目的広場ゾーン等を整備します。また、アーバンスポーツゾーン等の施設整備については、用地の確保等が整った段階で整備を行っていきます。

- ・子どもたちや高齢者の運動の場づくり
- ・新たなスポーツの場や市民活動スポットとなる場づくり
- ・遊歩道等との連携

### (3)動線計画・ゾーニング(案)



※  ... 将来整備施設

ゾーニング図

### ■メインエントランスゾーン

- ・明るく開放的なゲート空間、公園の顔
- ・園内へのスムーズな導入
- ・憩いのゾーンに直結する入口
- ・自動車、自転車、歩行者動線の分離  
(エントランス広場、公園名板、案内板)

### ■駐車場・駐輪場ゾーン

- ・野球場利用を想定した十分な台数確保  
駐車場 50 台程度(W2.5m×L 5.0m)  
駐輪場 60 台程度(W0.5m×L 2.0m)  
(アスファルト舗装、コンクリート系舗装)

### ■管理施設ゾーン

- ・管理施設の設置を想定した空間  
(バリアフリートイレ、倉庫)

### ■憩いのゾーン

- ・憩いや遊び場見守りのゾーン
- ・キッチンカー等の乗り入れ  
(ブロック系舗装広場、屋根付き休憩施設、ベンチ、縁台)

### ■遊びのゾーン

- ・子どもの遊びのためのゾーン
- ・遊具広場
- ・大きな子供(児童)、小さな子供(幼児)のエリア分け  
(児童用遊具、幼児用遊具)

### ■多目的広場ゾーン(95m×95m程度)

- ・運動、イベント等に対応するゾーン
- ・ソフトボール(小学生 2 面)に対応
- ・グラウンドゴルフ(2 面)にも対応する規格
- ・様々な使い方が可能な自由度の高い広場  
(ダスト舗装、バックネット、防球フェンス)

### ■アーバンスポーツゾーン

- ・アーバンスポーツに対応するゾーン
- ・スケートパーク(600 m<sup>2</sup>程度)の設置
- ・様々な使い方が可能な広場併設(休憩スペース、3on3 コート 等)  
(スケートパーク(セクション設置タイプ)、広場)

### ■サブエントランスゾーン

- ・園内へのスムーズな導入
- ・自動車、自転車、歩行者動線の分離  
(案内板)

### ■サブエントランスゾーン(河川側)

- ・新堤防遊歩道からのアクセス
- ・河川空間との連携  
(小広場、案内板、駐輪場)

### ■園内メインストリート

- ・園内をつなぐメイン動線
- ・ソフトボール観戦、イベント見学の場
- ・ソフトボール等の待機場所  
(コンクリート系舗装(幅員 3m程度)、ベンチ)

### ■新堤防からの動線

- ・遊歩道と園内を繋ぐ動線
- ・サイクリスト、ランナー等の利用  
コンクリート系舗装(幅員 2m程度)

### ■車両動線

アスファルト舗装(幅員 6m程度)

### ■自転車動線

アスファルト舗装(幅員 2m程度)

### ■歩行者動線

ブロック系舗装、コンクリート系舗装

### 3 中川河川敷包括占用区域・遊歩道等

#### (1)コンセプト

市内外から多くの人を訪れることから、施設の充実を図る「Recreation 拠点」づくりと、周辺自治体等との広域的な連携のため、中川新堤防や旧堤防の活用により、周遊性を生かし、安全性を高めたウォーキングやジョギングコース、サイクリングコース等を構築

#### (2)整備方針

サイクリングコース等については、広域的な連携を基本としますが、早期整備の進め方としては、サイクリング等の利用者も休憩できる場所としての活用や、中川河川敷包括占用区域と遊歩道等との連携を高めることができるための施設整備を目指します。

- 地域と連携した多様なイベントが開催できる環境の充実
- 市民ニーズに応じた新たな魅力を発信する環境整備
- 遊歩道等との連携
- 旧堤防遊歩道の整備（中川遊歩道）
- 新堤防の管理用通路の活用

#### (3)早期整備施設(案)

中川やしおフラワーパークの中川新堤防のトイレ周辺に休憩施設等の整備を検討します。なお、具体的な整備内容の検討については、関係機関等との協議を踏まえ進めます。

#### 休憩施設の施設整備（例）



イメージ図

